

6月議会 日本共産党 さらがいふみ議員の一般質問から

里親制度について

理解と支援を広げる取り組みを

親の病気や虐待など、様々な事情で保護者が育てられない子どもを家庭で受け入れて育てる「里親」が重要な役割を果たしています。今回、一定期間家庭で育てる「養育里親」について質問しました。

質問 交野市内での里親の登録数は？

答弁 大阪府によると、3家庭が登録している。

質問 里親になった場合、保育所や一時預かりの利用はできるのか。

答弁 保育所入所は一般家庭と同じ条件。一時預かりの利用は制限があり、子どもを一時預ける必要がある場合は、里親支援機関への申請で、管内の別の里親が預かる制度がある。

要望 現状では、市の一時預かりはほぼ利用できないが、身近な市内の一時預かりを利用できないか、大阪府とも協議してほしい。



質問 里親制度は大阪府の制度であるが、市として里親制度の理解や支援を広げてほしい。学校や保育士、市の職員などの研修にも、里親制度の啓発を取り入れられないか。

答弁 里親制度の普及啓発は重要であり、学校や園の先生を対象に、研修などの機会に、里親制度の啓発等に取り組んでいきたい。

藤田まり議員の一般質問から

奨学金返済支援制度の創設を！

質問 地方創生の観点から、若者が地方に定着することを促進する取り組みとして、自治体が奨学金の返済を支援する制度が全国的に広がり、令和4年6月時点で、全国で615市町村が実施している（大阪府下では6市町村）。

交野市でもぜひ実施してほしいと考えるが。

答弁 奨学金返済支援制度は、少子高齢化、人口減少や担い手不足の解消などに一定の効果はあると考えられる。中学校給食の無償化など選ばれるまちの実現にむけて総合的な施策の展開で、市の発展につなげていきたい。

要望 高すぎる学費を払うために多くの若者が奨学金という借金を抱えなければいけない日本社会の問題がある。若者に交野市が選ばれる要素としても、奨学金の返済支援の制度をぜひ検討してほしい。

